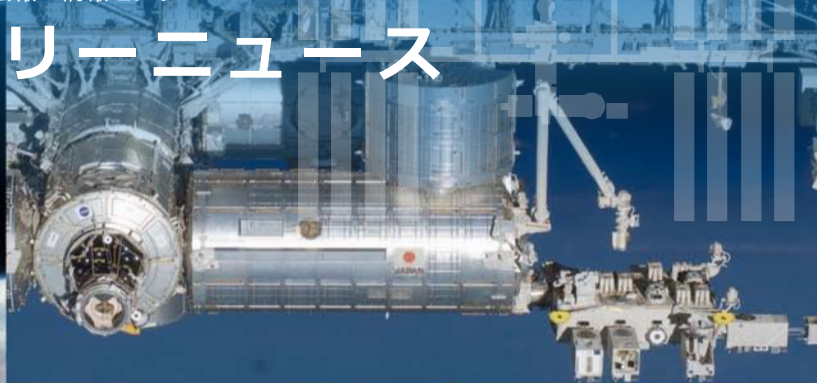


ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 464



(右上)「きぼう」日本実験棟 (出典: JAXA/NASA) (右下) 星出宇宙飛行士ら国際宇宙ステーション (ISS) 第 32 次/第 33 次長期滞在クルー (出典: JAXA/GCTC)
(左) 宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV) (出典: JAXA/NASA)

今週のきぼう



船内実験室運用開始から **1315** 日経過

2次元ナノテンプレート実験などを引き続き実施

2次元ナノテンプレート実験 (再実験) の後半を引き続き行っています。この実験では、宇宙の微小重力環境でナノサイズの物質をプレート (基板) の上に規則的に配列、成長させ、縞状の凹凸でマスク

パターンを作ります。今回の実験は2012年3月中旬頃まで実施する予定です。

そのほか、「きぼう」日本実験棟船外実験プラットフォームでは、宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA-AP) と全天 X 線

監視装置 (MAXI) の観測運用が続けられています。

Website info

「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

■ Mini Column 日本人宇宙飛行士がいない間、「きぼう」の運用はどうなっているの？

「きぼう」日本実験棟は、筑波宇宙センター (TKSC) の「きぼう」運用管制室にて、「きぼう」運用管制チーム (JFCT) により 3 交代 24 時間体制で運用され、国際宇宙ステーション (ISS) に日本人宇宙飛行士がいない間も、さまざまな実験が行われています。

「きぼう」の運用は、基本的に地上からの

遠隔操作で実施しますが、実験用ユニットの交換や実験用試料の出し入れなど、ISS 船内で行う作業がある場合は、宇宙飛行士に作業を依頼します。日本人宇宙飛行士が ISS にいない間、これらの作業は米国やロシアなど、国際パートナー (IP) の宇宙飛行士が対応します。

現在、ISS 長期滞在を行うソユーズ宇宙船搭

乗宇宙飛行士 3 名のうち、1 名は必ず「きぼう」のスペシャリストとして、「きぼう」での実験ができるよう、訓練を積んでいます。

■「きぼう」運用管制チーム (JFCT)
<http://kibo.jaxa.jp/system/operation/team/>
■「きぼう」実験運用管制チーム (PL FCT)
<http://kibo.jaxa.jp/system/operation/plfct/>

2012年有人宇宙主要イベント予告



旧年中はご愛読ありがとうございました。本年も引き続き ISS・きぼうウィークリーニュースをよろしくお願いいたします。

左から米国初の商業宇宙船であるドラゴン宇宙船が ISS へ到着 (2月)、欧州補給機 (ATV) 3号機「エドアルド・アマルディ」が ISS へ到着 (3月) ソコル宇宙服を着用する星出宇宙飛行士、星出宇宙飛行士搭乗のソユーズ宇宙船打上げ、星出宇宙飛行士 ISS 長期滞在開始 (6月)

「こうのとり」3号機に搭載されるポート共有実験装置 (MCE)、「こうのとり」3号機打上げ (平成 24 年度早期)、「こうのとり」3号機が ISS へ到着

※画像はイメージを含みます。



クルーは6名体制でクリスマスと新年を迎える

第30次長期滞在クルーのバーバンク宇宙飛行士らは、科学実験やメンテナンス作業など6名体制でのISS運用を行うとともに、クリスマスと新年は休暇を取り、ささやかなお祝いや地上の家族との通信、休息などの時間を過ごしました。

2012年を迎えたISSでは、まず、1月26日に打上げが予定されているロシアのプログレス補給船(46P)の到着に備え、

ISSのリブースト(軌道上昇)が行われる予定です。その後、46Pの到着に先立ち、プログレス補給船(45P)がISSから分離します。

また、2月には米国初の商業宇宙船であるドラゴン宇宙船が、3月には欧州補給機(ATV)3号機「エドアルド・アマルディ」がISSへ到着する予定です。これらの宇宙機は、現在、地上で打上げに向けた準備

が進められています。

Expedition 30 Crew

ISS滞在56日経過

ダニエル・バーバンク(コマンダー、NASA)

アントン・シュカブレロフ(ロシア)

アナトリー・イヴァニシン(ロシア)

ISS滞在18日経過

オレグ・コノネンコ(ロシア)

アンドレ・カイバース(EESA)

ドナルド・ペティット(NASA)

Website info

国際宇宙ステーション(ISS)

<http://iss.jaxa.jp/iss/>

インフォメーション

古川宇宙飛行士 ISS 長期滞在ミッション報告会 in 東北大学開催、参加者募集

JAXAと東北大学は、第28次/第29次長期滞在クルーとして国際宇宙ステーション(ISS)に滞在した古川宇宙飛行士によるISS長期滞在ミッション報告会と、「きぼう」およびISSにおける利用実験の内容と準備状況の報告会を、1月27日(金)に東北大学にて開催します。

参加は無料ですが事前申し込み(定員

1,000名、先着順)が必要です。プログラムの詳細や参加申し込み方法についてはホームページをご覧ください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

Website info

古川宇宙飛行士国際宇宙ステーション(ISS)長期滞在ミッション報告会【国際宇宙ステーションからのメッセージ～宇宙サイエンスin東北大学～】

http://www.science-event.jp/furukawa_tohoku/



古川宇宙飛行士 ISS 長期滞在ミッション報告会ホームページトップ(出典: JAXA)

平成23年度第2回宇宙医学生物学ワークショップ開催、参加者募集

JAXAは、国際宇宙ステーション(ISS)と「きぼう」日本実験棟を利用した宇宙医学生物学研究に取り組み、そこで得られた研究成果を社会に還元することを目的としたワークショップを開催しています。その第2回目を、「宇宙医学と健康増進科

学」をテーマとして、2月1日(水)に東京都港区虎の門のスタンダード会議室にて開催します。

本ワークショップは一般の方もご聴講頂けます。参加は無料ですが事前申し込みが必要です。参加申し込み方法などに

ついてはホームページをご覧ください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

Website info

平成23年度 第2回宇宙医学生物学ワークショップ「宇宙医学と健康増進科学」を開催

http://iss.jaxa.jp/topics/2012/01/igaku_ws_fy23_2.html

more information



- ▶ 古川宇宙飛行士が帰還後初めて日本に帰国、「JAXA 宇宙航空最前線」への出演や各地で開催されるミッション報告会に参加
1月13日にはネット生放送「JAXA 宇宙航空最前線」に出演します。また、1月16日のミッション報告会の模様もウェブでご覧になれます。
詳細はホームページをご覧ください。多くの皆様のご視聴をお待ちしています。

■ 1月13日(金) 20:00-21:00 「JAXA 宇宙航空最前線 第7回 ～お帰りの古川さん 第28/29次長期滞在任務完了報告～」

<http://live.nicovideo.jp/watch/lv76613632?ref=ser>

■ 1月16日(月) 18:00-20:30 「古川聡宇宙飛行士 国際宇宙ステーション(ISS) 長期滞在ミッション報告会」

<http://live.nicovideo.jp/watch/lv77318005>

- ▶ SPACE@NAVI-Kibo WEEKLY NEWS http://iss.jaxa.jp/library/video/category/WEEKLY_NEWS
「きぼう」やISSの最新情報を映像でお届けするウィークリービデオニュースはこちらをご覧ください。

ISS・きぼうウィークリーニュース 第464号

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。